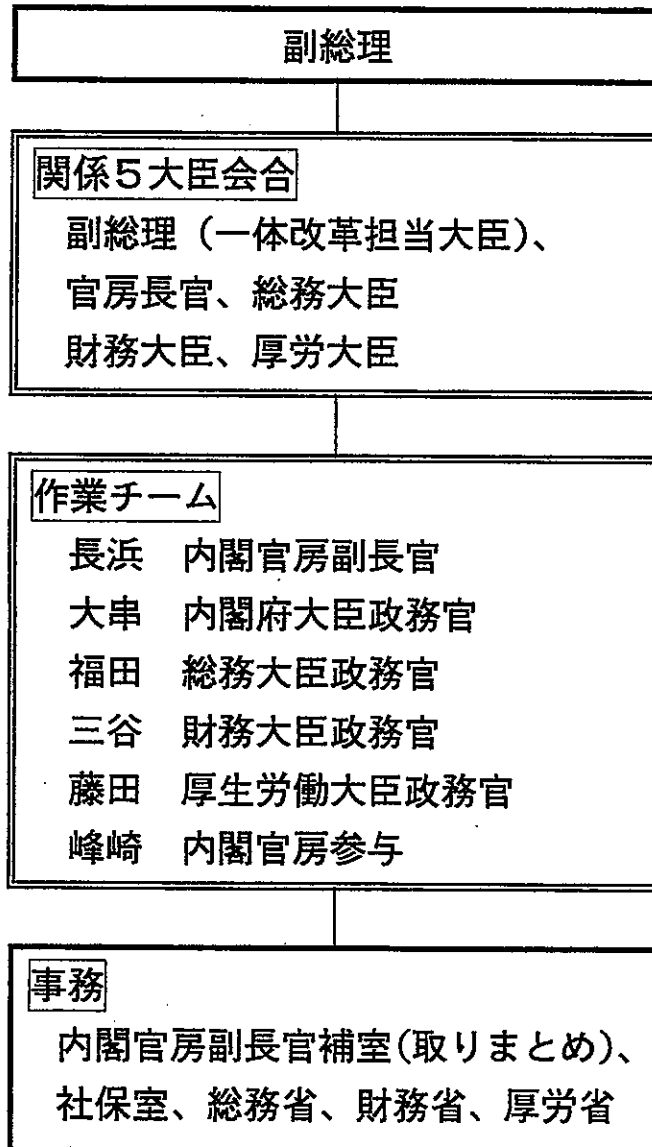


(社保と税本体で配布された資料)

検討体制

副総理（社会保障・税一体改革担当大臣）の下に、「税と社会保険料を徴収する体制の構築についての作業チーム」を設置。



税と社会保険料を徴収する体制の構築についての作業チーム
名 簿

座長 内閣官房副長官 長浜 博行

事務局長 内閣府大臣政務官 大串 博志

総務大臣政務官 福田 昭夫

財務大臣政務官 三谷 光男

厚生労働大臣政務官 藤田 一枝

内閣官房参与
(社会保障・税に関わる番号制度
に関する実務検討会事務局長) 峰崎 直樹

岡田副総理定例記者会見冒頭発言

(平成24年2月28日(火))

【歳入庁関連部分抜粋】

本日、社会保障・税一体改革関係5大臣会合を開き、歳入庁に関する検討の今後の進め方を確認いたしました。

検討に当たりましては、国民年金保険料などの納付率向上につながるか、第2に社会保険行政、税務行政全般の効率性確保に資するか、3番目に今後導入が見込まれるマイナンバー、給付付税額控除、新年金制度等にとって相応しい体制か。第1点目は国民年金に対する信頼回復の視点、第2点目は行政効率化の視点、第3点目は新制度への対応の視点、ということで、そういったことを踏まえながら進めていくことを確認したところでございます。

歳入庁の検討は、実務的な論点が多岐にわたるため、結論を出すまでには、ある程度時間がかかるというふうに考えますが、作業チームには、消費税の議論が本格化するまでには、何らかのイメージについて私に中間報告していただきたいということを確認したところでございます。

歳入庁に関する検討状況

- 2月24日 第1回作業チーム
キックオフ
- 2月28日 関係5大臣会合
検討の基本的考え方、今後の進め方
- 3月 2日 第2回作業チーム
関係省庁ヒアリング① 財務省・国税庁
- 3月12日 第3回作業チーム
関係省庁ヒアリング② 厚生労働省・日本年金機構

当面の検討スケジュール

2/24 (金) 第1回 キックオフ

2/28 (火) 関係5大臣会合

3/2 (金) 第2回 関係省庁ヒアリング

- ・今後の進め方
- ・関係省庁ヒアリング（財務省（国税庁））

海外調査

3/12 (月) 第3回 関係省庁ヒアリング（厚生労働省）

- ・社会保険料の徴収の現状と課題①
 - 年金保険
 - 健康保険
 - ・協会管掌健康保険
 - ・組合管掌健康保険

3月中

第4回 関係省庁ヒアリング（厚生労働省）

- ・社会保険料の徴収の現状と課題②
 - 国民健康保険
 - 後期高齢者医療
 - 介護保険

第5回 関係省庁ヒアリング（総務省、厚生労働省）

- ・社会保険料の徴収の現状と課題③
 - 雇用保険
 - 労働者災害補償保険
- ・地方税の徴収の現状と課題

4月頃

中間報告（大まかなイメージ等）素案の議論（2回程度）
「中間報告（大まかなイメージ等）」とりまとめ

5月

海外調査報告（2回程度）

6月頃

中間論点整理素案の議論（2回程度）
中間論点整理とりまとめ